



伊達政宗公騎馬像帰還記念企画  
おかえりなさい、**政宗公**

〜伊達の気概〜  
ここにあり

伊達政宗公は小説や漫画でも取り上げられている。その一つ、河北新報に2011年9月から21年3月まで連載された漫画「独眼竜政宗」の作者千葉真弓さん(60)に、政宗公の人物像や作品を仕上げる上での苦心談などを聞いた。



「政宗を通じてわたしたちの地域を描こう」と語る千葉さん

郷土史家・漫画作家  
ちば まゆみ

## 千葉真弓さん

Profile  
仙台市出身。郷土史家。漫画作家。まちのほり研究室代表取締役。近年の共著に「伊達政宗と時代劇メディア」(時代考証学会発行)、著書に「あやしい政宗伝説元ネタ知って楽しさ2倍」など。2022年5月、漫画「独眼竜政宗1」(プレスアート)を刊行した。河北新報に連載した同名の漫画を大幅に加筆修正した。第2巻は23年5月24日発行予定。24年の第3巻で完結する。

# 史実に基づき一生描く「『奥州王』完結した教養人」

Interview  
Mayumi Chiba

「登場人物の顔や体格は何を基に描きましたか。」  
代々の当主の顔を描いた史料や木像を参考にしたりは、美術解剖学も用いて顔立ちや体格を類推しました。政宗は(実際より)ハンサムになっていると思います。子どもの時に栄養が足りていたか、甲冑など重い物を身につけていたか、などでも体格を判断します。伊達成実が乗馬が好きなので、ちょっとがに股にしてみました。全体的にスタイリッシュなサッカー選手よりラグビー選手に近い体格に



震災で変わった意味  
「連載は約10年間、334話で完結しました。どんな思いで向き合いましたか。」  
きちんと史料に基づいて政宗の一生を描こうと思いましたが、当初36話で終わる予定だったのが(連載半年前にあった)東日本大震災で漫画の意味が変わりました。圧倒的なヒーローに救ってほしいという気持ち(被災地に)あり、「もし政宗がいたら」という声もあつたと思います。だからこそ都合のいいヒーロー像を語ってはいけないと肝に銘じました。

「私」「おれ」使い分け  
「大変細かい仕上がりです。紙と鉛筆と絵具で作ったものとCGで作ったものをつなげてコンピューターの中で完成させる作業です。白い息を描いたり、身分に影をつけて着物の模様や襟の色を変えたりしました。政宗はほとんどの家臣の前では「私」という一人称を使いますが、片倉小十郎の前では「おれ」を使いました。親しみが全然違うと考えて使い分けしました。

逸話には作り話も  
「政宗はどんな人物だと思いますか。」  
一番の特徴は戦国大名から近世大名に脱皮できた点でしょう。戦国時代に天下を取ろうとしたのは織田信長など一部であつて、全国の大名家がそんな面倒なことは考えていなかったというのが今の通説です。政宗も同じです。政宗は陸奥守であること、奥州王であることがプライドでした。その点でちゃんと完結させた人だつたと思います。政宗の騎馬像で終えました。(聞き手は営業部・武田聡)

編集時期と重なつた仙台市史の最先端の研究成果も反映させました。政宗の歴史は一通り知っているつもりでしたが大変でした。ほとんどの時間は調べて勉強することでした。

政宗を描くのではなく政宗を通して郷土史、わたしたちの地域を描こうと思ひますか。  
政宗は「田舎の若者が成り上がり志向で京都の文化にあこがれて」という風に描かれることがありますがそれは違います。政宗はいいこの御曹司で非常な教養の持ち主、一種の軍人貴族です。信長、秀吉、家康より政宗の方が教育的には恵まれていました。だから京に上つて宮中の人たちと連絡を取ることができたのです。

「思い通り描き切りましたか。」  
政宗を描くのではなく政宗を通して郷土史、わたしたちの地域を描こうと思ひますか。  
政宗は「田舎の若者が成り上がり志向で京都の文化にあこがれて」という風に描かれることがありますがそれは違います。政宗はいいこの御曹司で非常な教養の持ち主、一種の軍人貴族です。信長、秀吉、家康より政宗の方が教育的には恵まれていました。だから京に上つて宮中の人たちと連絡を取ることができたのです。

## 36年前の熱狂を体験「騎馬像帰還、観光面に期待」



東北観光推進機構 理事長  
あおい 純一

一般社団法人東北観光推進機構理事長の紺野純一さん(73)は大河ドラマ「独眼竜政宗」が放送された1987年、主演の渡辺謙さんが仙台市内のイベントに参加した際の熱狂ぶりを鮮明に記憶している。当時JRR東北日本東北地域本社の営業部販売促進係長だった紺野さんは「あれだけ人が集まるとは思わなかった」と振り返る。  
同年5月24日、仙台・青葉まつりのパレードに参加するため、渡辺さんと正室・愛姫役の桜田淳子さんが仙台を訪問した。パレードの前に仙台駅2階コンコースで実施されたイベントを担当したのが紺野さんだった。  
二人は駅前のホテルで待機し、ベドストリアンデッキを歩いて駅に向かう予定でしたが、人垣で身動きが取れないので(約百以先の)ホテルに車で迎えに行つたのを覚えています。  
駅の1階からイベント会場に向かうルートも向かう人も人であふれ、紺野さんは桜田さんを抱きかかえるようにガードして2階に案内した。「後で思えば役得だった」  
仙台市の観光統計情報によると、1987年の入り込み客数は大河ドラマ効果もあり前年を28%も上回った。紺野さんは「独眼竜政宗チームは素晴らしい。今でも強烈な思い出として残っている。仙台城下を見下ろす騎馬像は大変うれしい。仙台が再び脚光を浴びるといいですね」と観光客増に期待を込めた。

## 唯一無二のシンボル 修復時に感じた特別な思い



ブロンズスタジオ取締役  
たかはし ゆうじ  
高橋 裕二さん

2022年3月の地震で損傷した伊達政宗公騎馬像は、彫刻修復を専門とする「ブロンズスタジオ」(東京都瑞穂町)で修復が行われた。同社取締役の高橋裕二さんが修復の過程やそこから生まれた思いを語った。  
騎馬像の修復は、彫刻修復を専門とする同社においても困難を極めた。作業では、最小限の開口部から古い充填材を取り除き、新たな骨格を入れるための計画段階が最も重要になるが、設計図が残っておらず内部構造がまったく分からなかったためだ。だが苦心の作業の中でも新たな発見があった。修復に携わった高橋さんは「像の地金の厚みが3.5〜8mm程度と非常に薄く造られ、重量を軽くできただけでなく、原型の再現性がとても高い。丁寧な仕事の跡がいくつも見られ、当時の鑄造技術の確かさに感心させられました」と敬意を込める。  
通常の美術品の修復では、作家の意図を後世へつなげることに集中して作業を行う。今回にはそれに加えて仙台・宮城のシンボルとしての大切さを兼ねている点に、一般的な美術品や文化財修復と違う特別なものを感じていました」と思いを語る。  
修復を終えた唯一無二の像が内に再び強さを秘めて仙台に帰ることとなり、宮城県民、仙台市民の安堵は大きい。新たな内部構造体を取り入れた「伊達政宗公騎馬像」は、本丸広場から今後長く仙台のまちを見守ることだろう。

水と生きる SUNTORY

新



週末の  
ごほうび、  
The  
PREMIUM  
MALT'S

のんだあとにはサイクリクル。お酒はなによりも適量です。妊娠中や授乳期の飲酒はやめまじょう。ストッパー20歳未満飲酒飲酒運転。サントリー株式会社

